

資料番号	-01-003-01	-01-007-02	-01-010-01	0039-01-011-01	-01-014-01	-01-018-02
調査年月日	2005年8月9日	2005年8月2日	2005年8月2日	2005年8月9日	2005年8月9日	2005/9/6
調査者	生谷吉男	生谷吉男	生谷吉男	生谷吉男	生谷吉男	生谷吉男
名称	友禅染標本帖	友禅染標本帖	友禅染標本帖	友禅染標本帖	友禅染標本帖	友禅染標本帖
糸 系	素材	絹	絹	絹	絹	二越縮緬
	タテ	絹	絹	絹	絹	絹 合わせ糸
	又キ	絹	絹	絹	絹	絹 合撫
色 色	地色	地色は黒。模様に赤、青、グレー	多色の各種花の色 赤、ピンク、ブルー、茶、カーキ	グレー地色に紫色霞のぼかし 7~8色で模様	表面 グレー、裏面 茶	表面 グレー、裏面 茶
	染料・顔料					型染め6色
	タテ					
	又キ					
加工 技法	織技法	軽目の二越縮緬 (ふたこしちりめん)	二越ちりめん	二越ちりめん(強撫の為にしづがが高い)	軽目の二越縮緬 (ふたこしちりめん)	軽目の二越縮緬 (ふたこしちりめん)
	染技法		染料による写し友禅と推定。華やかな色彩が特徴でピンクはローダミンの色初期の写し友禅の普及版ではないか	顔料により型置きし、上から摺り刷毛にてぼかしと加色をする。伏せの後地色引き染め或いは地の部分は各色のぼかし 繊細な線が特徴	両面捺染	両面捺染
	その他	白防染糊を型置きし(一部は手描き糊)刷毛にて挿し色、型防染法で伏せ糊置き、地色の墨、グレーぼかし(墨)				型紙捺染で塩基性染料ピンクを使って華やかな模様を表現、ボカシも多用(標本右)
文様	くもどりに草花のデザイン	各種花柄に幾何模様で赤とピンクが目立つ	七福神柄	表面 花柄デザイ	表面 花柄デザイ	花柄デザイン柄
形状	裂地	裂地	裂地	裂地	裂地	裂地
用途	着物、染色サンプル	友禅サンプル、子供着尺	友禅サンプル、男物襦袢	友禅サンプル 襦袢地	友禅サンプル 襦袢地	服地
特記事項	色料は顔料			表面 型による防染、挿し色 小紋捺染	表面 型による防染、挿し色 小紋捺染	
調査所見						
製作地						
製作年						
織名称						
法量	縦	320	120	40	150	150
	横	150	270	31	280	280
	織耳					
備考	幕末から明治初期のものと推定					

資料番号	-01-019-02	0039-01-022-02	0039-01-023-01	0039-01-027-02	0039-01-032-01
調査年月日	2005/9/6	2005年8月9日	2005年8月9日	2005年9月20日	2005年9月20日
調査者	生谷吉男	生谷吉男	生谷吉男	生谷吉男	生谷吉男
名称	友禅染標本帖	友禅染標本帖	友禅染標本帖	友禅染標本帖	友禅染標本帖
糸	素材	二越縮緬	絹	絹	絹
	タテ	絹 合わせ糸	絹	絹	絹
	又キ	絹 合撫	絹	絹	絹
	地色	地色 藍色 型染め6色	地色は緑褐色 白糸目に色糸の 筆様の花びら防 染	茶色の地色 白抜き糸目に墨によ る挿し	黒色の地色 赤、ピンク、薄青
色	染料・顔料		顔料		顔料
	タテ				
	又キ				
	織技法	二越縮緬 軽目	軽目の楊柳縮緬	軽目の二越縮緬(ふ たこしちりめん)	軽目の二越縮緬(ふ たこしちりめん)
加工 技法	染技法	捺染で塩基性染料 ピンクを使って華や かな模様を表現、 白糸目に写し友禅	糸目による防染 柄、花びら部分は 手描き様の防染 糊 色料は顔料	白糸目による手描き 防染してから引染 (浸漬による!)にて 染色されている。 扇面部分には薄茶 の色が挿され、墨で 文字が書かれている	赤花柄をメインにし た型染め(写し友 禅) 地色は墨染 め、青色のボカシ であるが赤、ピンク 顔料が使われてい る。型置き、防染 糊、引き染め(又は しごき染め)の工程
	その他				明治の初～中期で はないか！
					明治の初期ではな いか！
文様	花柄デザイン柄	草花のデザイン	扇子と草花	草花	風景の連続模様 3 枚中の左側
形状	裂地	裂地	裂地	裂地	裂地
用途	服地	服地、きもの	友禅サンプル 横 袂地	友禅サンプル 横袂地	友禅サンプル 着 尺or襦袢
特記事項					
調査所見		39-1-38-2,39-1- 45-2 に同一にも のがある。		初期の写し友禅と 推定	
製作地					
製作年					
織名称					
法量	縦	155	205	360	1275
	横	315	280	300	170
	織耳				
備考		幕末から明治初 期のものと推定			

